



[質問]

ウォーミングブランケットのホース挿入口に対して
エアホースは、どこまで差し込めば良いのでしょうか？

よくある質問 2



[答え]

エアホース先端接続部にある線（凸部）までを、ウォーミングブランケットのホース挿入口に差し込んでください。



**エアホースの差し込み過ぎにご注意ください。
患者体表面にエアホース先端部が接触するおそれがあります。**

加温中は、エアホース全体が高温になり、接触していると熱傷を引き起こすおそれがありますのでご注意ください。

3M™ ペア-ハガー™ ペーシエントウォーミングブランケット
製品には、必ず適応機種である3M™ ペア-ハガー™
ペーシエントウォーミング モデル775または750を
ご使用ください。



モデル 775

モデル 750

エアホース接続部の形状は共通です。

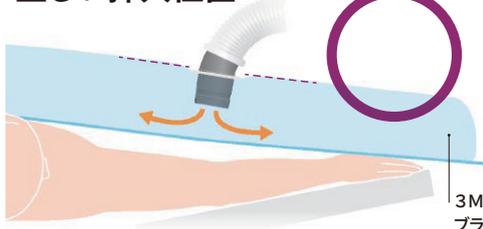


ホース先端接続部

ホース挿入用マーカの突起
までブランケットに差し込んで
ください。

ウォーミングブランケットの
ホース挿入口

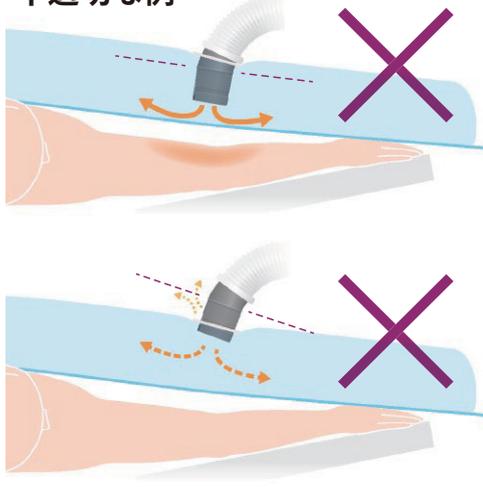
正しい挿入位置



ホース先端のホース挿入用マーカ-
の突起のところまで正しく差し込んで
ください。差し込んだホースの先端が
患者体表面に近づき過ぎていないか
ご確認ください。

3M™ ペア-ハガー™ ペーシエントウォーミング
ブランケット

不適切な例



1. 差し込み過ぎ

ホースを差し込み過ぎると、
ホースの先端が患者体表面に
接触するおそれがあります。

2. 浅過ぎ

加温中に温風が漏れたり、
ホースが抜けてしまう
おそれがあります。

警告

1. 使用時には必ず指定のエアパッド特定加温装置コントロールユニットのエアホースをウォーミングブランケットに接続すること。
[エアホースのみによる加温は、熱傷を引き起こすため。]
2. ウォーミングブランケットは、孔の開いている側を患者の体表面に向けて使用すること。[熱傷を引き起こすことがあるため。]
3. 加温中は、患者の体にエアホースが触れないようにすること。[加温中はエアホース全体が高温になり、接触していると熱傷を引き起こすおそれがあるため。]
4. ウォーミングブランケットと患者の間にシーツを敷かないこと。[加温性能および安全性に影響するため。]
5. 温度上昇警報ランプが表示され、アラームが鳴った場合は、直ちに使用を中止すること。[熱傷を引き起こすおそれがあるため。]
6. 患者の体温・皮膚の状態を10～20分おきにモニタすること。バイタルサインに異常または不安定な状態が見られた場合は、直ちに使用を中止すること。
7. 正常体温に回復したり、バイタルサインが不安定になった場合は、設定温度を下げるか、または使用を中止すること。
8. 患者が下記の状態にある場合は、細心の注意を払い、絶えずモニタすること。[熱傷を引き起こすおそれがあるため。]
● 閉塞性または糖尿病性の著しい末梢血管障害の患者 ● 低心拍出量の患者 ● 血流状態が悪い患者

禁忌・禁止

1. 再使用禁止
2. 大動脈クランプなどで、四肢の血管が遮断され、虚血状態になっている部位には使用しないこと。[熱傷を引き起こすおそれがあるため。]
3. 本品は、適用機種以外には接続しないこと。[熱傷を引き起こすおそれがあるため。また、本来の性能を損なうおそれがあるため。]

3M、Bair Hugger、ペア-ハガーは、3M社の商標です。

2017年4月発行

スリーエム ジャパン株式会社
ヘルスケアカンパニー

感染管理製品事業部

<http://www.mmm.co.jp/hc/medical/>

Please Recycle. Printed in Japan.
© 3M 2017. All Rights Reserved.
HPM-582-C(041710)TP

カスタマーコールセンター

製品のお問い合わせはナビダイヤルで

0570-011-321

8:45～17:15 / 月～金（土日祝年末年始は除く）
全国どこからでも市内料金でご利用いただけます